

NEC Expressサーバ  
Express5800シリーズ  
InterSec

**N8100-909**

**Express5800/SG300a**

**ユーザーズガイド**

## 商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。UNIXはThe Open Groupの登録商標です。FireWall-1はCheck Point Software Technologiesの登録商標または商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。DatalightとROM-DOSはDatalight, Inc.の登録商標または商標です。Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

## オペレーティングシステムの表記について

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating systemおよびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよび Microsoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。本製品で使用しているソフトウェアの大部分は、BSDの著作とGNUのパブリックライセンスの条項に基づいて自由に配布することができます。ただし、アプリケーションの中には、その所有者に所有権があり、再配布に許可が必要なものがあります。本製品で使用しているオープンソースコードについては弊社サイト『<http://www.express.nec.co.jp/linux/>』をご参照ください。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

## **使用上のご注意** - 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

### 安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています(本体に印刷されている場合もあります)。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



**警告**







人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。





**注意**

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>注意の喚起</b>	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	<b>行為の禁止</b>	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	<b>行為の強制</b>	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)







注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧、電源のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	 <b>注意</b>

# 本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容

## 注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	指をはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		

## 行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。







## 行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

# 安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

## 全般的な注意事項

 <b>警告</b>	
	<p><b>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</b></p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。</p>
	<p><b>煙や異臭、異音がしたまま使用しない</b></p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
	<p><b>針金や金属片を差し込まない</b></p> <p>通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。</p>
	<p><b>規格以外のラックで使用しない</b></p> <p>本装置はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックにも取り付けて使用できます。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。</p>
	<p><b>指定以外の場所で使用しない</b></p> <p>本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。</p> <p>本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをされるおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書または保守サービス会社にお問い合わせください。</p>

 **注意**



**海外で使用しない**

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



**装置内に水や異物を入れない**

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

## ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

### 注意



#### 1人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



#### 荷重が集中してしまうような設置はしない

ラック、および取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



#### 1人で部品の取り付けをしない

ラック用のドアやトレーなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



#### ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。



#### 複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。



#### 定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

## 電源・電源コードに関する注意事項

### 警告



#### ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



#### アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

### 注意



#### 指定以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



#### たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



#### 中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



#### 指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードをステーブラなどで固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)



#### 添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。



# 設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

## ⚠ 注意



### 指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 不安定な場所。



### 腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。

また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



### 落下注意

本装置をラックに取り付けるまたは取り外す際は、底面をしっかりとってください。ラック取り付けブラケットには、落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機構がないため装置をラックからすべて引き出すと、装置がラックから外れて落下してけがをするおそれがあります。



### 装置を引き出した状態にしない

装置を引き出した状態のまま作業をしないでください。ラック取り付けブラケットには落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機構がないため作業中に装置が脱落してけがをするおそれがあります。



### カバーを外したまま取り付けない

本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。



### 指を挟まない

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。



### プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



### 指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

## お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

### 警告



#### 自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



#### リチウムバッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



#### プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

### 注意



#### 高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



#### 中途半端に取り付けない











電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



#### コネクタカバーを取り付けずに使用しない






内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。

## 運用中の注意事項

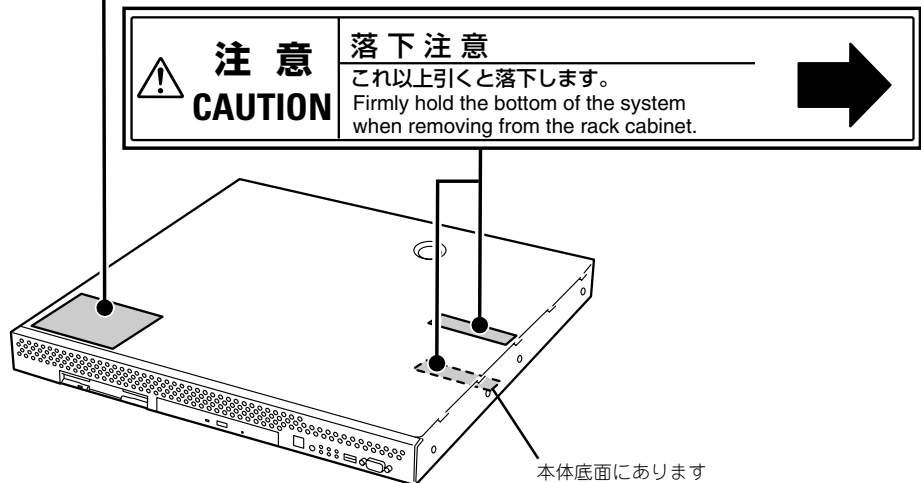
 <b>注意</b>	
   	<p><b>雷が鳴ったら触らない</b></p> <p>雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。</p>
 	<p><b>ペットを近づけない</b></p> <p>本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。</p>
	<p><b>CD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない</b></p> <p>引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。</p>
	<p><b>近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない</b></p> <p>本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。</p>
	<p><b>動作中に装置をラックから引き出さない</b></p> <p>本装置が動作しているときにラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。</p>

# 警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが表示されています(警告ラベルは本体に印刷されているか、貼り付けられている場合があります)。これは本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れている、本体に印刷されていないなどしているときは販売店にご連絡ください。

<b>⚠ 注意 CAUTION</b>	
オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。 Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.	  電源プラグを抜く 感電注意
ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザースガイドを参照し、正しく接続して下さい。誤った接続は、故障や火災の原因となります。 Refer to the "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.	
装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持ち上げて下さい。 Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.	
高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにして下さい。 As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use precaution when handling internal components immediately after powering down.	

<b>⚠ 注意 CAUTION</b>	<b>落下注意</b>
	これ以上引くと落下します。 Firmly hold the bottom of the system when removing from the rack cabinet.



本体底面にあります

## 取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。

- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本体の電源をOFFになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本体のアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本体の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してからにしてください。
- 本体を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本体を清掃してください(清掃は7章で説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- PCIスロットに搭載されているLANボードに接続したケーブルを抜くときは、コネクタのツメが手では押しにくくなっているため、マイナスドライバなどを使用してツメを押し抜いてください。その際に、マイナスドライバなどがLANポートやその他のポートを破損しないよう十分に注意してください。
- 次の条件に当てはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。
  - ー 装置の輸送後
  - ー 装置の保管後
  - ー 装置の動作を保証する環境条件(温度：10℃～35℃・湿度：20%～80%)から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。

- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。

装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

- 本装置、内蔵型のオプション機器、バックアップ装置にセットするメディア(テープカートリッジ)などは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分になじませてからお使いください。

参考：冬季(室温と10度以上の気温差)に結露防止に有効な時間

－ ディスク装置：約2～3時間

－ メディア：約1日

- オプションは本体に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本体に取り付けや接続ができて正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。



#### 保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

# はじめに

このたびは、NECのInterSecシリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、インターネットビジネスに欠かせないファイアウォール機能、キャッシュ機能、メールサービス、Webサービス、ウイルスチェック機能など、各機能をそれぞれの専用ハードウェアに集約したNECのInterSecシリーズの1つです。

コンパクトなボディに高性能と容易性を凝縮し、堅牢なセキュリティ機能が安全で高速なネットワーク環境を提供いたします。

また、セットアップのわずらわしさをまったく感じさせない専用のセットアッププログラムやマネージメントアプリケーションは、お客様の一元管理の元でさらに細やかで高度なサービスを提供します。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。




# 本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

## 本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

## 本書の構成について

本書は7つの章から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。なお、巻末には付録・用語解説・索引があります。必要に応じてご利用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

**第1章 InterSecシリーズについて** 本製品の特長や添付のソフトウェアについて説明します。

**第2章 ハードウェアの取り扱いと操作** 本体の設置や接続、各部の名称などシステムのセットアップを始める前や運用時に知っておいていただきたい基本的なことがらについて説明しています。

**第3章 システムのセットアップ** 専用ツールによるセットアップなど装置を使用できるまでの作業と注意事項を説明します。再セットアップの方法についても説明しています。



- 第4章 ファイアウォール機能の設定方法** 管理クライアントからWebブラウザを使って本装置にアクセスする方法やWebブラウザ上に表示される「Management Console」を使ったシステムの設定や状態のチェックの方法について説明します。
- 第5章 保守・管理ソフトウェア** 本体に添付の「保守・管理ツールCD-ROM」の使い方とCD-ROMにあるツールやアプリケーションの使用方法について説明します。また、本体に添付の「保守・管理ツールCD-ROM」および「バックアップCD-ROM」にそれぞれ収納されている「ESMPRO/ServerManager」と「ESMPRO/ServerAgent」の使用方法については、それぞれのCD-ROMに格納されているオンラインドキュメントをご覧ください。
- 第6章 システムの拡張** 内蔵オプションの取り付け/取り外し方法と、BIOSの設定内容の確認と変更方法について説明します。
- 第7章 故障かな?と思ったときは** 「故障かな?」と思ったときは、装置の故障を疑う前に参照してください。また、この章では故障を未然に防ぐための保守のしかたやInterSecシリーズをご利用のお客様に提供しているサービスについても紹介しています。

なお、本書は、InterSecシリーズのホームページからダウンロードすることができます。

<http://nec8.com/>

# 付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成部品チェックシートを参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



重要

## 付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスク、またはCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

# 第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

- 本体について

第三者へ譲渡(または売却)する場合には、使用上のご注意を一緒にお渡しください。



## ハードディスク内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようお客様の責任において確実に処分してください。

オペレーティングシステムのコマンド等を使用して削除すると見た目は削除された様に見えますが実際のデータはハードディスクに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- 添付のソフトウェアについて

添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

# 消耗品・装置の廃棄について

- 本体およびハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



重要

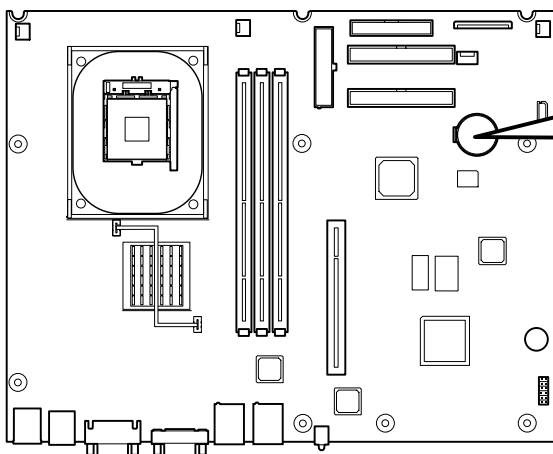
- 本体のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
  - ハードディスクやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。
- 本体の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(冷却ファン、本体内蔵のバッテリー、内蔵CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。



## リチウムバッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

# 目次

△ 使用上のご注意 - 必ずお読みください - .....	iii
安全にかかわる表示について .....	iii
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容 .....	iv
安全上のご注意 .....	v
一般的な注意事項 .....	v
ラックの設置・取り扱いに関する注意事項 .....	vii
電源・電源コードに関する注意事項 .....	viii
設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項 .....	ix
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項 .....	x
運用中の注意事項 .....	xi
警告ラベルについて .....	xii
取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために - .....	xiii
はじめに .....	xv
本書について .....	xvi
本文中の記号について .....	xvi
本書の構成について .....	xvi
付属品の確認 .....	xviii
第三者への譲渡について .....	xix
消耗品・装置の廃棄について .....	xx

## 1 InterSecシリーズについて

InterSecシリーズとは .....	2
Express5800/SG300について .....	4
概 要 .....	4
ライセンスキー .....	7
ソフトウェアサポートサービス .....	7
注意・制限事項 .....	9
添付のディスクについて .....	10

## 2 ハードウェアの取り扱いと操作

設 置 .....	12
卓上への設置 .....	12
ラックへの設置 .....	14
取り付け部品の確認 .....	16
必要な工具 .....	16
取り付け手順 .....	17
取り外し手順 .....	23

各部の名称と機能 .....	25
本体前面 .....	25
本体背面 .....	26
本体内部 .....	26
ランプ表示 .....	27
POWERランプ .....	27
STATUSランプ .....	27
DISK ACCESSランプ .....	27
UID(ユニットID)ランプ .....	27
ACT/LINKランプ .....	28
アクセスランプ .....	28
100TXランプ .....	28
接続について .....	29
基本的な操作 .....	31
フロントベゼル .....	31
POWERスイッチ - 電源のON/OFF/再起動 - .....	32
フロッピーディスクドライブ .....	33
フロッピーディスクのセット/取り出し .....	33
フロッピーディスクの取り扱いについて .....	33
CD-ROMドライブ .....	35
CD-ROMのセット/取り出し .....	35
取り出せなくなったときの方法 .....	36
CD-ROMの取り扱いについて .....	37
UIDスイッチ - 本体の確認 - .....	38

### 3 システムのセットアップ

セットアップの準備 .....	40
セットアップ .....	41
設定手順の流れ .....	41
初期導入設定用ディスクによる設定 .....	42
初期導入設定用ディスクの作成 .....	42
初期導入設定ツールの実行と操作の流れ .....	42
入力項目の設定 .....	43
初期導入設定用ディスクによるセットアップ .....	50
セットアップ手順 .....	50
セットアップに失敗した場合 .....	53
システムの基本設定 .....	54
セキュリティポリシーのセットアップ .....	57
Management Consoleの起動 .....	58
ライセンスとソフトウェアサポートサービスの登録 .....	59
かんたん設定ウィザードによるポリシーールールの作成 .....	60
バックアップ .....	63
システム基本情報のバックアップ .....	63
セキュリティポリシーのバックアップ .....	65
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ .....	66
マザーボード情報のバックアップ .....	66

二重化構成について .....	67
動作概要 .....	67
初期セットアップ .....	69
二重化のための詳細セットアップ .....	70
二重化サービスの(再)起動と停止 .....	72
二重化機能の詳細設定 .....	73
状態の確認 .....	75
フェイルオーバーとフェイルバック .....	77
手動による切り替え .....	78
単体構成への切り替え .....	79
注意・制限事項 .....	80
再セットアップ .....	81
システムの再インストール .....	81
再インストールの準備 .....	81
再インストール手順 .....	82
システムの再インストール .....	82
システム基本情報の再設定 .....	82
セキュリティポリシーのリストア .....	84
残りのタスク .....	84

## 4 ファイアウォール機能の設定方法

Management Consoleについて .....	86
Management Consoleの接続 .....	86
Management Consoleのトップ画面 .....	88
かんたん設定ウィザード .....	89
設定作業の流れ .....	90
設定内容の確認 .....	91
ネットワーク構成の選択 .....	92
ネットワークインタフェースの選択 .....	93
公開サーバの設定 .....	95
ウェブサーバの設定 .....	95
メールサーバの設定 .....	97
ファイル転送サーバの設定 .....	98
ネームサーバの設定 .....	99
外部ネットワークに公開するその他のサーバ群の設定 .....	101
外部サービスの利用の選択 .....	103
不正アクセス対策レベルの設定 .....	104
ユーザ認証の利用の設定 .....	106
かんたん設定ウィザードでの設定内容の確認 .....	108
詳細設定メニュー .....	110
ルール設定 .....	111
設定作業の流れ .....	112
サイト共通ルール .....	113
サイト共通ルールの設定内容の確認 .....	113
サイト共通ルールの追加 .....	116
サイト共通ルールの削除 .....	121
サイト共通ルールの更新 .....	123
ルール評価順の入れ替え .....	127
内部から外部への通信におけるウェブ専用フィルタの設定 .....	129
内部から外部への通信におけるメール専用フィルタの設定 .....	133

グループルール	136
グループルールの設定内容の確認	137
グループルールの追加	139
グループルールの削除	145
グループルールの更新	147
サーバ公開ルール	151
サーバ公開ルールの設定内容の確認	151
サーバ公開ルールの追加	154
サーバ公開ルールの削除	157
サーバ公開ルールの更新	159
外部から内部への通信におけるウェブ専用フィルタの設定	162
外部から内部への通信におけるメール専用フィルタの設定	165
流入量制限ルール	169
流入量制限ルールの設定内容の確認	170
流入量制限ルールの追加	172
流入量制限ルールの削除	174
流入量制限ルールの更新	176
アドレスグループ	178
アドレスグループの確認	178
アドレスグループの追加	180
アドレスグループの削除	183
アドレスグループの更新	186
サービス	189
サービスの確認	189
サービスの追加	191
サービスの削除	194
サービスの更新	196
ルール設定の履歴表示	199
設定履歴を参照するには	199
過去の設定内容に戻すには	201
設定履歴を削除するには	204
インポート/エクスポート	207
設定内容のインポート	207
設定内容のエクスポート	210
ユーザ設定	211
ユーザ設定	211
ユーザ情報の確認	212
CSVファイルを経由したユーザの一括登録	213
ユーザの個別追加	216
ユーザ情報の削除	219
ユーザ情報の更新	221
ユーザ情報のCSVファイルへの出力	223
認証設定	225
ロックアウト設定	227
グループ設定	229
グループ情報の確認	229
グループ情報の追加	231
グループ情報の削除	233
グループ情報の更新	235
VPN設定	238
VPN設定ウィザード	239
LAN間接続	240
リモートアクセスVPN	244
VPNパス設定	250
VPNパス確認	250
VPNパスの追加(共有鍵交換)	252



VPNパスの追加(自動鍵交換：トンネルモード) .....	258
VPNパスの追加(自動鍵交換：トランスポートモード) .....	264
VPNパスの削除 .....	269
VPNパスの更新 .....	271
VPNパラメータの設定 .....	273
ログ・アラート設定 .....	275
ログ・アラートファイル設定 .....	275
ログ・アラートファイルダウンロード/アップロード .....	277
アラートアクション設定 .....	279
情報表示 .....	282
状態表示 .....	282
ログ・アラート表示 .....	283
ログ表示 .....	283
CSV出力 .....	286
簡易集計表示 .....	289
外部統計用CSV出力 .....	291
ライセンスの確認と登録 .....	292
ライセンスキー/サポートキーの登録 .....	292
ライセンス設定の確認 .....	294
システムメンテナンス .....	295
ソフトウェアアップデート .....	295
バックアップ .....	298
バックアップの取得 .....	298
バックアップのリストア .....	300
ユーザ認証 .....	302
ユーザ認証 .....	302
ユーザパスワードの変更 .....	304

## 5 保守・管理ソフトウェア

保守・管理ツール .....	306
起動方法 .....	306
メインメニュー .....	307
マスターコントロールメニュー .....	310
オフライン保守ユーティリティ .....	311
オフライン保守ユーティリティの起動方法 .....	311
オフライン保守ユーティリティの機能 .....	312
システム診断 .....	313
システム診断の内容 .....	313
システム診断の起動と終了 .....	313
MWA - Management Workstation Application - .....	316
通信方法 .....	316
MWAの機能 .....	316
動作環境 .....	318
MWAのインストール .....	318
コンフィグレーション .....	319
リモートコンソール接続 .....	319
LAN接続された管理コンピュータから実行する .....	319
ダイレクト接続(COM B)された管理コンピュータから実行する .....	321

ESMPRO .....	323
エクスペレス通報サービス .....	323

## 6 システムの拡張

内蔵オプションの取り付け .....	326
安全上の注意 .....	326
静電気対策について .....	327
取り付け/取り外しの準備 .....	328
卓上に設置している場合 .....	328
ラックに設置している場合 .....	329
取り付け/取り外しの手順 .....	331
DIMM .....	331
BIOSの設定と確認 .....	334
起 動 .....	334
キーと画面の説明 .....	335
操作手順 .....	336
システム内の構成情報をリセットする .....	336
メモリの状態を確認/変更する .....	337
POWERスイッチ機能を無効にする .....	338
終了方法 .....	339
ハードウェア構成情報の復旧 .....	340
CMOSのクリア -コンフィグレーションジャンパスイッチ- .....	340
BIOS設定値のリロード .....	342

## 7 故障かな?と思ったときは

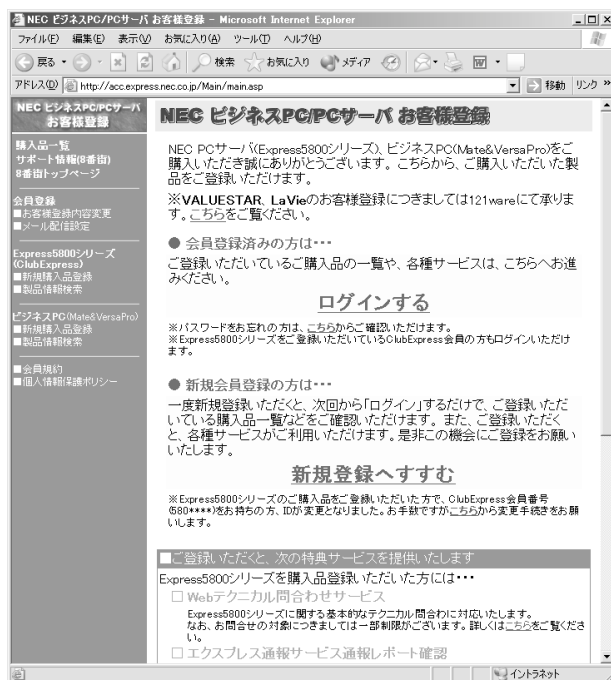
日常の保守 .....	344
アラートの確認 .....	344
ステータスランプの確認 .....	344
バックアップ .....	345
クリーニング .....	345
本体のクリーニング .....	345
CD-ROMのクリーニング .....	346
障害時の対処 .....	347
障害箇所の切り分け .....	347
エラーメッセージ -電源ON後のピーブ音- .....	348
トラブルシューティング .....	349
本体について .....	349
Management Consoleについて .....	350
ユーザ認証について .....	351
保守・管理ツールについて .....	351
マスターコントロールメニューについて .....	352
ESMPROについて .....	353
FAQ .....	354
GUI関連 .....	354
NAT .....	354
認証 .....	354
ライセンス関連 .....	354
その他 .....	354

移動と保管 .....	355
ユーザーサポート .....	357
保証について .....	357
修理に出される前に .....	358
修理に出される時は .....	358
補修用部品について .....	358
保守サポート/保守サービスについて .....	359
ソフトウェアに関するサポート .....	359
ソフトウェア以外に関するサポート .....	359
ハードウェアメンテナンスサービス .....	359
オプションサービス .....	360
情報サービスについて .....	361
付録A 仕様 .....	363
付録B 二重化機能のログメッセージ .....	364
付録C 保守サービス会社網一覧 .....	366
用語解説 .....	371
索引 .....	373

## ユーザー登録をしましょう！

NECでは、製品ご購入のお客様に「Club Express会員」への登録をご案内しております。添付の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入の上、エクスプレス受付センターまでご返送いただくか、またはClub Expressのインターネットホームページにてご登録ください。

<http://club.express.nec.co.jp/>



「Club Express会員」のみなさまには、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Expressのインターネットホームページにて紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

## オンラインドキュメントについて

添付の「保守・管理ツールCD-ROM」には次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- ESM/ServerManager Ver.4.0インストールガイド
- MWAファーストステップガイド

添付の「バックアップCD-ROM」にはオンラインドキュメントとして「ESM/ServerAgent Ver.3.9 (Linux版)」の説明書が収められています。必要に応じて参照してください。

バックアップCD-ROM:/nec/Linux/esmpro.sa/doc/users.pdf